



2012年2月期決算説明資料

～遊びを通じた健全な子育てに向けて～



株式会社イオンファンタジー

東証一部、証券コード:4343
0

2012年2月期 決算概要

当期のハイライト

決算ハイライト

- ◆ 売上高42,447百万円(前年比+0.5%)、営業利益3,616百万円(前年比+34.8%)
当期純利益1,684百万円(前年比+34.1%)、1株当たり配当金32円(前期30円)

主な要因: 東日本大震災の影響⇒一時109店舗が休業状態となり、売上減少は▲8億円影響
主な特別損益⇒資産除去債務1億85百万円、災害損失98百万円(保険補填あり)

経営ハイライト

- ◆ 新規オープン5店舗、大型改装10店、国内期末店舗数316店(前期末320)
- ◆ ‘孫消費’コンセプトの実験店舗「ファンタジーアイランドせんげん台店」出店
- ◆ 人気カードゲームの拡充⇒第3四半期以降の売上を牽引
- ◆ 中国・マレーシアで多店舗出店(地元ショッピングセンターへ出店を実現)

海外参考情報

- ◆ 中国5店舗、マレーシア20店⇒売上高6億45百万円 ・ 営業利益▲1億円



げんき！ えがお！ プロジェクトの展開



<ポップンパーク石巻東店>



ファンタジーアイランド石巻店 非被災地店のお客さまからの応援フラッグ



地域のお子さまに遊び場を提供

営業再開に向けた‘安全・安心’な店づくり

経営理念の実現への取り組みが

お子さまの笑顔を実現

全従業員が当社の社会的使命を共有化



損益計算書（事前予想と当期実績）

2012年2月期（2011年2月21日～2012年2月20日）

（単位：百万円、％）

	2011/2期 実績	2012/2期 当初予想	2012/2期 修正予想	2012/2期 実績	前年比(%)	予想比(%)
売上高	42,245	40,700	42,800	42,447	+0.5%	△0.8%
売上原価	37,127			36,424	△1.9%	
売上総利益	5,118			6,022	+18.0%	
販管費	2,436			2,406	△1.2%	
営業利益	2,682	2,600	3,600	3,616	+34.8%	+1.0%
営業外損益	△ 80			14	—	
経常利益	2,601	2,600	3,600	3,631	+39.6%	+0.9%
特別損益	△ 38			△243	—	
税引前利益	2,563			3,387	+32.2%	
法人税等	1,306			1,703	+30.4%	
当期純利益	1,256	1,050	1,600	1,684	+34.1%	+5.3%

注. 予想比は2011年12月15日の上方修正予想対比です。

株式会社イオンファンタジー



4

会計上の売上高詳細

（2011年2月21日～2012年2月20日）

（単位：百万円、％）

	2012年2月期 累計期間		前年同期 対比	既存店 伸び率
	実績	構成比		
遊戯機械	32,902	77.5	△1.2%	△0.8%
商品（物販）	9,378	22.1	+7.1%	+7.7%
委託	140	0.3	△5.0%	—
遊戯施設関係合計	42,420	99.9	+0.5%	+1.0%
その他	26	0.1	+12.1%	—
売上高合計	42,447	100.0	+0.5%	+1.0%

株式会社イオンファンタジー



5

グループ別売上動向

	2012年2月期第1四半期		2012年2月期第2四半期		2012年2月期第3四半期		2012年2月期第4四半期	
	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比
時間制遊具グループ	3.8	121.5	4.5	116.2	4.6	112.2	4.5	102.7
体感グループ	10.4	91.2	10.6	100.0	10.2	101.7	10.1	92.6
カードグループ	16.7	83.8	17.2	90.9	19.5	133.9	19.5	111.2
メダルグループ	25.7	91.7	26.9	106.9	27.4	113.1	26.4	103.6
プライズグループ	33.4	102.2	32.2	104.7	30.3	97.1	31.3	89.0
シールグループ	7.1	94.9	5.7	96.1	5.5	96.1	5.3	88.2
その他物販	3.1	108.3	2.9	127.7	2.8	110.1	2.8	92.5
売上高合計	100.0	94.9	100.0	102.6	100.0	108.5	100.0	97.5

四半期毎の収益の推移

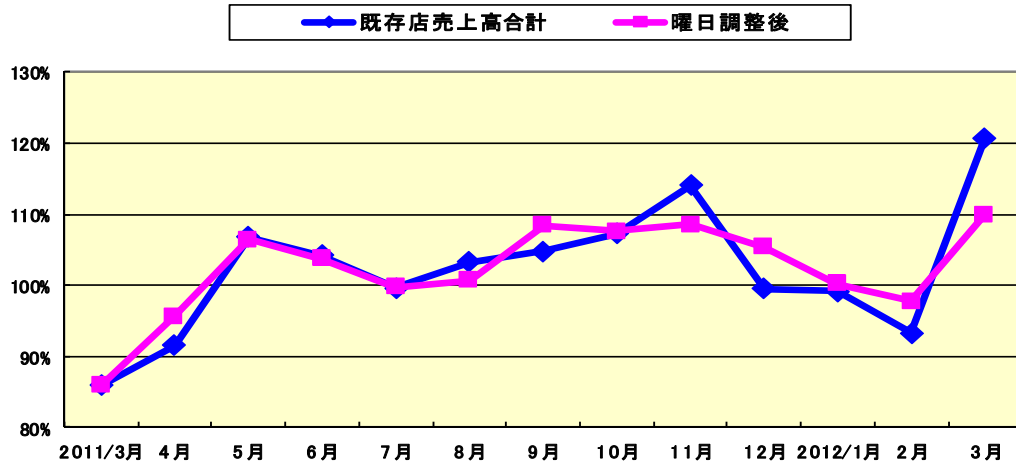
2012年2月期（2011年2月21日～2012年2月20日）

（単位：百万円、％）

	2012/2 第1四半期 会計期間実績	増減率 (%)	2012/2 第2四半期 会計期間実績	増減率 (%)	2012/2 第3四半期 会計期間実績	増減率 (%)	2012/2 第4四半期 会計期間実績	増減率 (%)
売上高	9,650	△ 5.6	11,207	2.4	10,587	7.9	11,003	△2.4
売上原価	8,781	△ 5.8	9,298	△ 3.0	8,942	1.4	9,384	△7.2
売上総利益	869	△ 3.0	1,909	40.4	1,644	66.1	1,620	△13.5
販管費	608	△ 7.5	585	3.4	609	2.9	604	△2.5
営業利益	260	9.7	1,323	66.9	1,034	160.4	1,018	△18.8
営業外損益	△ 1	-	△ 1	-	6	-	△51	-
経常利益	259	12.0	1,322	82.5	1,041	163.8	1,009	△20.3
特別損益	△ 228	-	24	-	△ 24	-	△15	-
税引前利益	31	△ 87.2	1,346	92.4	1,017	181.0	993	△21.1
法人税等	78	-	605	-	486	-	529	-
当期純利益	△ 47	-	741	108.5	530	278.4	465	△32.3

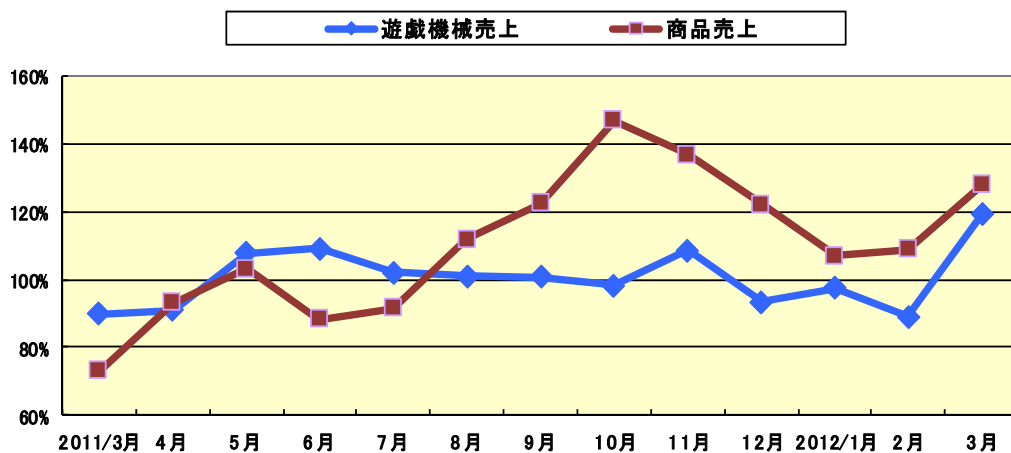
既存店売上高の月次推移（合計）

上期	2011/3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売上高合計	85.9%	91.5%	106.8%	104.2%	99.7%	103.3%	
曜日調整後	85.9%	95.6%	106.4%	103.7%	99.8%	100.7%	
下期	9月	10月	11月	12月	2012/1月	2月	3月
売上高合計	104.8%	107.3%	114.1%	99.5%	99.2%	93.3%	120.8%
曜日調整後	108.5%	107.6%	108.6%	105.4%	100.2%	97.8%	110.0%



既存店売上高の月次推移（遊戯機械、商品）

上期	2011/3月	4月	5月	6月	7月	8月	
遊戯機械売上	89.8%	91.1%	107.8%	109.3%	102.1%	101.1%	
商品売上	73.1%	93.1%	103.1%	88.3%	91.4%	111.9%	
下期	9月	10月	11月	12月	2012/1月	2月	3月
遊戯機械売上	100.8%	98.4%	108.5%	93.4%	97.4%	89.0%	119.2%
商品売上	122.4%	147.0%	136.8%	122.1%	107.0%	108.9%	127.9%



貸借対照表（資産の部）

2012年2月期（2011年2月21日～2012年2月20日）

（単位：百万円、％）

資産の部	2011/2期		2012/2期		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	10,495	49.0%	11,860	49.4%	+1,365
現金及び預金	8,055	37.6%	4,326	18.0%	△3,728
たな卸資産	661	3.1%	785	3.3%	+123
未収入金※	1,321	6.2%	303	1.3%	△1,018
繰延税金資産	349	1.6%	318	1.3%	△31
その他流動資産	458	1.6%	6,128	25.5%	+5,670
固定資産	10,926	51.0%	12,135	50.6%	+1,208
有形固定資産	6,320	29.5%	6,444	26.9%	+123
無形固定資産	1,168	5.5%	933	3.9%	△234
投資その他の資産	3,437	16.0%	4,757	19.8%	+1,319
資産合計	21,421	100.0%	23,995	100.0%	+2,574

（注：関係会社からの未収入金を含む）

株式会社イオンファンタジー

10



貸借対照表（負債・純資産の部）

2012年2月期（2011年2月21日～2012年2月20日）

（単位：百万円、％）

負債・純資産の部	2011/2期		2012/2期		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動負債	3,764	17.6%	5,028	21.0%	+1,264
買入債務	831	3.9%	837	3.5%	+6
未払費用	1,081	5.0%	852	3.5%	△228
未払法人税等	690	3.2%	1,042	4.3%	+352
その他流動負債	1,160	5.4%	2,297	9.6%	+1,137
固定負債	43	0.2%	199	8.3%	+155
純資産	17,613	82.2%	18,768	78.2%	+1,154
株主資本	17,593	82.1%	18,735	78.1%	+1,141
うち自己株式	△75	△0.4%	△73	△0.3%	+1
新株予約権	19	0.1%	32	0.1%	+13
負債・純資産合計	21,421	100.0%	23,995	100.0%	+2,574

株式会社イオンファンタジー

11



キャッシュフロー計算書

2012年2月期（2011年2月21日～2012年2月20日）

（単位：百万円、％）

	2011/2期	2012/2期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	6,623	7,277	+653
税引前当期純利益	2,563	3,387	+824
減価償却費	4,610	3,574	△1,035
法人税等の支払額	△ 884	△1,269	△384
投資活動によるキャッシュフロー	△ 3,377	△10,462	△7,085
有形固定資産の取得による支出	△ 3,317	△3,179	+137
財務活動によるキャッシュフロー	△ 544	△544	0
配当金の支払額	△ 543	△543	0
現金及び現金同等物の増減額	2,702	△3,728	△6,430
現金及び現金同等物の期首残高	5,353	8,055	+2,702
現金及び現金同等物の期末残高	8,055	4,326	△3,728

株式会社イオンファンタジー



12

店舗別品揃えの推進



◇キッズからシニアを対象に
店舗別に客層にあわせた
遊戯機械の見直しを実施



©2012 Aeon Fantasy



13

人気メダルゲームの拡充



ピンピンバイレーツ



まんぶく水族館



カザーン



スピンフィーバー



シニア向け品揃え



幼児分野強化に向けた品揃えの再構築



<ホッピングロード>



<アンパンマンコーナー>



<キッズプライズチビサークル>



<時間制遊具わいわいぱーく>



イベントプログラムの充実(スキッズガーデン)



株式会社イオンファンタジー

- ◇定期的なイベント開催で売上向上
- ・スキッズガーデン既存店伸び率

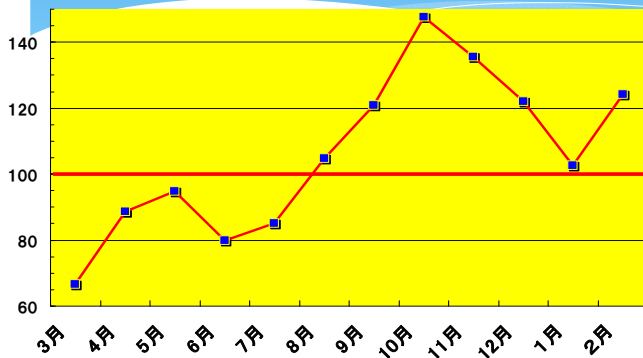


通期伸び率123.9%



カードゲームの推移

既存店伸び率推移



<ドラゴンボールヒーローズ>
株式会社イオンファンタジー



<プリティリズム>



<ガンダムトライエジ>



既存GMSへの‘孫消費’対応業態

『都市化・シニア化(孫消費)』対応、ファンタジーアイランドせんげん台出店

100坪未満の小型モデル



株式会社イオンファンタジー

孫との時間共有対応 時間制遊戯施設導入



シニア対応機能



店舗数の状況 (2月20日現在)

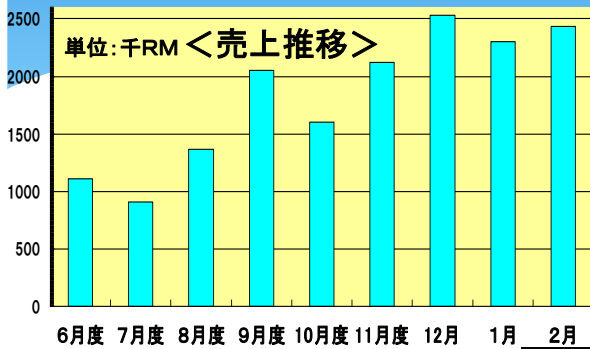
	2011/2期末 店舗数	2012/2/20 店舗数
国内直営店舗	320	316
国内フランチャイズ	3	3
国内計	323	319
マレーシア店舗数	0	20
中国店舗数	3	5
海外計	3	25
TOTAL	326	344

株式会社イオンファンタジー



海外事業の拡大①

◇マレーシア事業の拡大とタイでのF Sの開始！



◇「PARKSON」への出店
⇒マレーシアライオングループ傘下の
中国系有力小売グループ
⇒当社20店目2012.1月開店

◇タイプロジェクトの設立
⇒事業化に向けF Sを開始

株式会社イオンファンタジー



20

海外事業の拡大②



天津TEDA店



◇現地大手流通グループとの共同出店に合意
⇒イオン系のみならず外部出店を拡大
◇2012年で30店体制に拡大
⇒中期的に100店舗体制をめざす

株式会社イオンファンタジー



21

2011～13年度 中期経営計画



中期経営計画 (2011～2013) I 環境分析

【国内環境】(昨年より継続)

- ・少子化進行
- ・人口の都市集中化、地域過疎化
- ・子ども市場における「健全な成長」や「防犯」分野市場は堅調
- ・シニア層の増加

震災後の安全な遊び場へ意識高まる

【海外環境】(昨年より継続)

- (中国)
- ・所得増加 270% (00/08年比)
 - ・教養・娯楽支出増 203% (00/08年比)
- (マレーシア)
- ・娯楽支出増加 224% (00/08年比)
 - ・サービス事業の自由化

アジア地域における積極拡大の好機

【自社・競合】(昨年より継続)

- ・グループ国内出店機会の減少、海外出店加速
- ・主力事業であるアミューズメント市場成熟期へ

国内既存事業の成長維持・新たな成長基盤作りが急務

2012年以降における環境変化

- ・消費税導入の可能性高まる
 - 需要低迷によるサービス消費低下
 - AM業界のコインオペレーションシステム見直し
- ・日本社会の「都市化」・「シニア化」による「近居家族」の増加
- ・デジタル(コンテンツ、デバイス)の普及進む
- ・世界経済は「欧米停滞、中国・ASEAN更なる成長」
 - 海外の安全・安心なファミリーAM施設の需要拡大
- ・AM機器における開発市場は、海外(中国等)へシフト
 - グローバルな情報収集力が必要に
- ・震災→原発停止による電力削減問題
- ・短時間労働者への被用者保険の適用拡大



2011～2013年 中期経営計画

中期経営計画

Ⅱ 我々の目指す姿

アジアで、子ども達に
「遊びの場」を通じて
「すこやかな成長」をプロデュースする
企業となる



株式会社イオンファンタジー

24



24

中期経営計画 (2011～2013)

Ⅲ 戦略基本方針

「ファミリーエンターテインメント事業」
における圧倒的なシェア確保と
中国・アセアンにおける成長基盤の確立



株式会社イオンファンタジー

25



25

中期経営計画 (2011~2013)

IV 戦略方針

1. 国内戦略

- ① 既存事業 年間101%成長維持
- ② 次世代成長に向けた開発力の強化
(事業・店舗・商品・サービス・人材)
- ③ お客さまに向けた問題解決のできる人材育成

2. 海外戦略

- ① 中国事業
年間100店舗出店体制への準備
- ② アセアン事業
マレーシアでのブランド価値向上
その他出店検討(タイ調査)
- ③ グローバルな視点を持つ人材育成

2021年2月期
営業収益
1,000億円目標
2013年度 500億
(海外事業50億)



国内・アジアに
おける
イオンファンタジー
ブランドの確立

2013年2月期 業績予想

2013年2月期の連結業績予想

2013年2月期（2012年2月21日～2013年2月28日）

（単位：百万円、％）

	2011/2期 実績	2012/2期 実績	2013/2期 予想	前年比(%)
売上高	42,245	42,447	45,000	+6.0%
営業利益	2,682	3,616	3,700	+2.3%
経常利益	2,601	3,631	3,700	+1.9%
当期純利益	1,256	1,684	1,800	+6.9%
1株当たり当期純利益	69.32円	92.94円	99.28円	—
1株当たり配当金	30円	32円	30円	—



業績予想の前提条件

今期業績予想の前提条件

- ◆ 新規出店 国内5店、海外30店程度の予定
 - ・ 既存「モーリーファンタジー」5店舗に加え、既存GMS店舗での活性化を10店舗程度計画（ファンタジーアイランド）
- ◆ 設備投資額は60億円（前年比+35%）、減価償却費は37億円（前年比+3.5%）の予定
- ◆ 既存店売上高は、101%の予定
- ◆ 海外事業の収益（イオンファンタジー北京・イオンファンタジーマレーシア）

2013年2月期	
売上高	13億54百万円
営業利益	▲1億70百万円

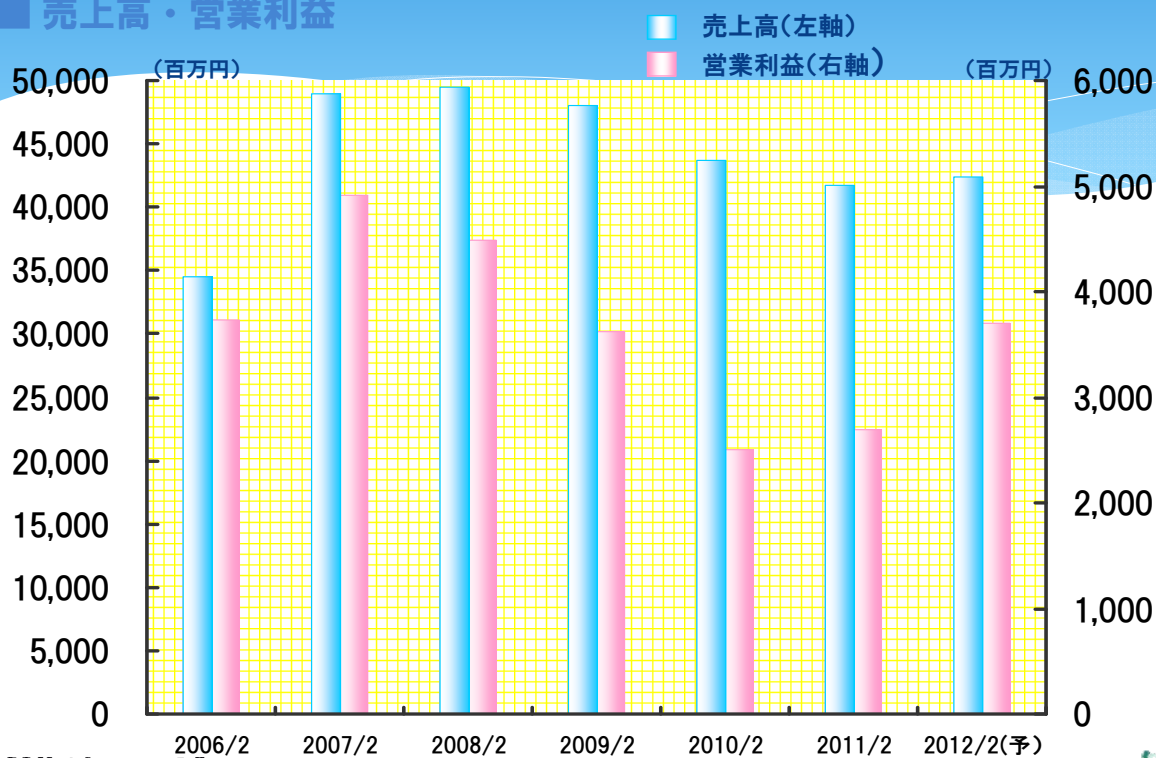


過去5年間 参考グラフ

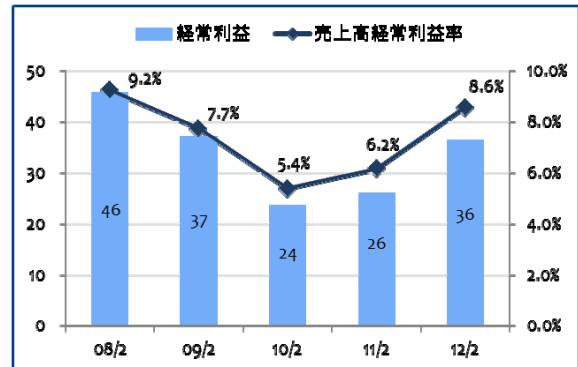
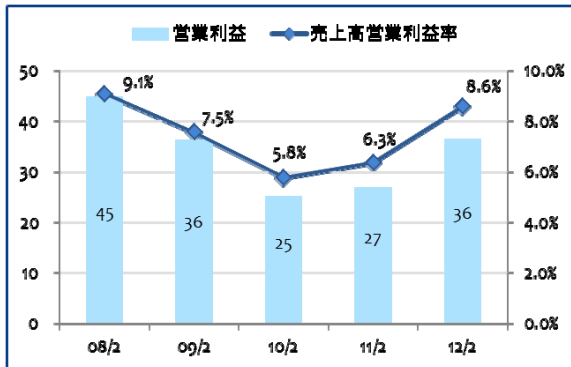


過去5年間の財務指標の推移

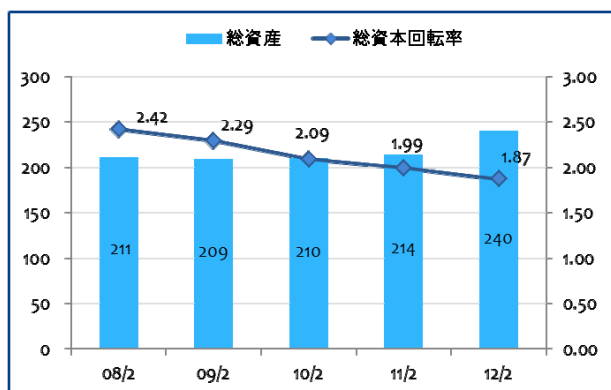
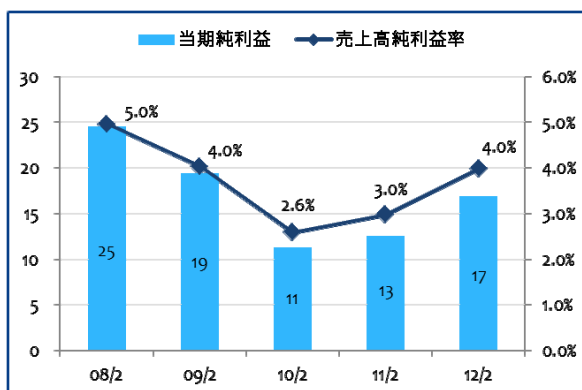
■ 売上高・営業利益



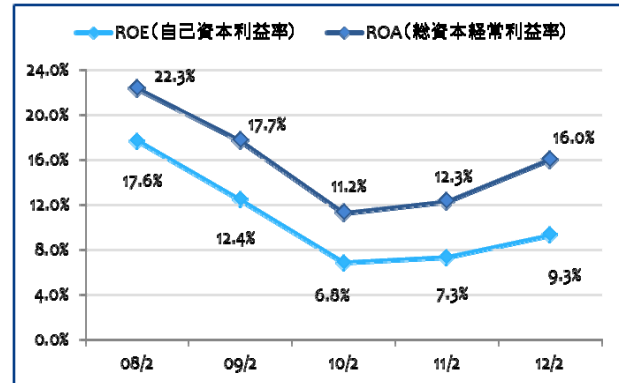
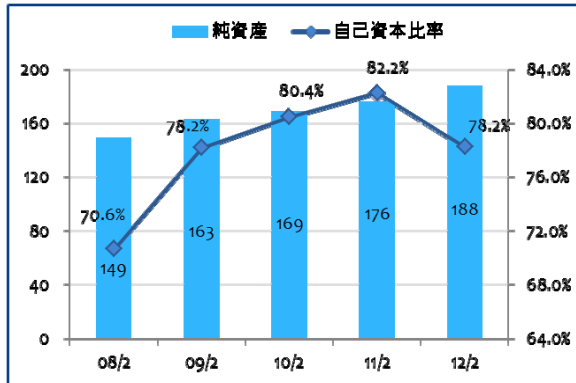
過去5年間の財務指標の推移



過去5年間の財務指標の推移



過去5年間の財務指標の推移



株式会社イオンファンタジー



業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。



株式会社イオンファンタジー

東証一部、証券コード: 4343